

学習活動

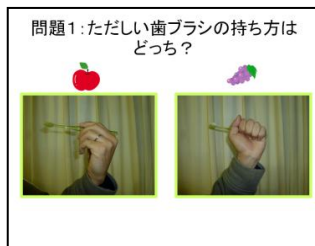
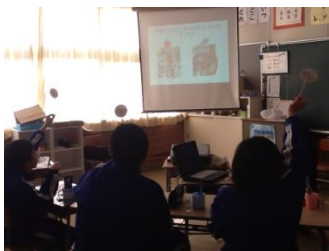
歯磨きの学習(歯磨きクイズ、映像を見ながら歯磨き、歯磨き検定等)

活用の目的

- プレゼンテーションソフトを使ってクイズに取り組み、正しい歯磨きの理解を深める。
- 映像教材で歯磨きの手順を提示することで、生徒が活動を理解し、一人で取り組めるようにする。

活用の実際と工夫

- Power Point 教材「歯磨き名人になろう！」で正しい歯磨きの仕方をクイズ形式で学習した。
- 2択クイズの回答は、机上の「りんごカード」「ぶどうカード」で答えられるようにした。
- 映像教材は大型の模型を使い、背景や音声の刺激を減らし、字幕によって磨いている位置をわかりやすく提示した。
- 生徒は手洗い場で映像を見ながら歯磨きを行った。
- iPad にはプレゼンテーションソフトと映像教材を保存しておき、授業の振り返りや確認の際に提示した。



Power Point 教材「歯磨き名人になろう！」の活用場面。クイズは2択形式で出題する。



iPad で前時の振り返りをしたり、ビデオを見たりする。前時授業のデータを手軽に提示できる。



ビデオ教材「歯磨きDVD」。難しい歯の内側も、ビデオを見ながら磨くことができた。



ビデオと同じ流れのめくり式手順表。静止画へ支援を簡略化し、家庭に般化させた。



当初、模型でなく教師がモデルとなって撮影した。しかし口の中の様子までは提示することができなかったため、模型を使うこととなった。

活用の効果 ○効果 ●課題

- Power Point でクイズに取り組む学習は以前から行っており、生徒にも定着していたため、スムーズに取り組めた。また、アニメーション等の視覚効果も取り入れることで注目できていた。
- めくり式の歯磨き手順カードを使うことを最終的な支援として設定し、同じ流れのビデオ教材で歯磨きの練習をした。どの生徒も映像に注目して活動できた。その後の手順カードへの移行もスムーズであった。
- 簡単に前時を振り返ったり、思い出したりする程度であれば、10名未満の生徒なら iPad1 台で対応可能であった。ディスプレイは小さいものの、注目してほしい部分を拡大できる点が有効であった。
- 今回の授業では「どっちが正しいですか」の発問に、「りんごカード」「ぶどうカード」で答えることができていた。しかし障がいの重い生徒であれば「クイズに答える=上についている果物の絵柄を選ぶ」という2つの理解をふまなければならない、混乱が予想される。生徒がより直接的に答えられる手段が必要と感じた。電子黒板(インタラクティブ・ホワイトボード)があれば、生徒が直接写真をタッチして答えることができると考えられるため、ぜひ配置して頂きたい。
- 手順ビデオ、手順表は視覚的な手立てとして有効だが、背景等の刺激を極力減らさないと逆効果の場合もあると感じた。モデルは人よりも模型等の方が刺激も少なく、わかりやすいようである。